A photograph of two workers in a factory setting. On the left, a man with a beard and glasses, wearing an orange hard hat and a blue checkered shirt, is looking towards the right. On the right, a woman with blonde hair in a braid, wearing an orange hard hat, safety glasses, and a dark grey polo shirt, is looking back at him. They appear to be in a conversation. The background shows industrial equipment and shelves. The image is framed by orange borders on the left and right sides, with a white circular graphic element overlapping the workers.

カルデリス
ビジネス行動規範
および倫理規定

目次

本規範の理解と実践

当社の価値観と取り組み

人材

環境

当社の資産

ビジネスインテグリティと倫理

内部通報

本規範の施行と監視

CEOからのメッセージ

親愛なる従業員の皆さんとパートナーの皆様へ

当社の「ビジネス行動規範および倫理規定」は、私たちがどのように働き、意思決定を行い、互いに、またステークホルダーとどのように関わるかを導く原則を定めています。これは、カルデリス・グループで、またはカルデリス・グループのために、あるいはカルデリス・グループと協力して働くすべての人に求められる、倫理的な行動と職務上の行動の基準を規定するものです。

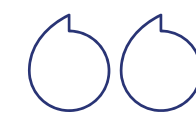
本規範は、信頼できる職場環境を構築し、すべてのステークホルダーとの強固で敬意に満ちた関係を維持するために役立ちます。これは、社員が日々正しい判断を下せるよう支援し、カルデリス・グループが、社内外において最高度の誠実さをもって行動する企業として認識されることを確実にするために策定されました。

本規範は、例外なく私たち全員に適用されます。本規範は、人々、環境、そして私たちが事業を展開する地域社会に対する私たちの共通の責任を反映しており、倫理的かつ公正な事業慣行への取り組みの基盤となります。

私たちの価値観——粘り強さ、責任感、多文化主義、そして誠実さ——は、本規範の中核を成し、私たちの行動、意思決定、そしてリーダーシップの指針となります。これらの原則を受け入れ、率先して模範を示すことで、私たちは当グループの評判を守り、持続可能な成功に貢献します。

皆さんには、本規範を熟読し、日々の業務においてその原則を実践し、互いに支え合いながら正しい行動をとっていただきたいと思います。共に力を合わせて、この行動規範を私たちの企業文化に根付かせましょう。

ミシェル・コーネリッセン
最高経営責任者



本規範は、全従業員が日々の業務において正しい判断を下すための指針となるはずで



行動規範の理解と実践

誠実さ、責任感、そして敬意を持って行動するための指針—私たちが事業を展開するあらゆる場所で、毎日実践するために。

本行動規範は、日々の職務上の行動における誠実さへの共通の取り組みに関する基本原則をまとめたものです。

本規範は、当グループの従業員一人ひとりはもちろん、パートナーやサプライヤーにとっても指針となる行動基準を定めています。また、適用される国内外のあらゆる法令や規制を確実に遵守するための明確な指針を提供します。

多国籍企業グループであるカルデリスにとって、倫理的なビジネス原則とベストプラクティスを、本規範のような強固かつ効果的なツールによって支えることは不可欠です。

本規範の適用対象

本規範とその原則は、カルデリス・グループの全従業員、合併事業体、ならびにサプライヤー、代理店、下請業者、その他の長期的なビジネスパートナーに適用され、これらすべての関係者は同様の基準に従うことが求められます。

私たちは皆、本規範の要件を熟知し、遵守しなければなりません。管理職には、事業計画や意思決定において本規範が日々確実に適用されるようにする特別な責任があります。

すべての管理職および従業員が本規範とその原則を理解し実践できるよう、啓発および研修プログラムが提供されています。

「生きた文書」

本規範は、カルデリス・グループの最高経営責任者（CEO）およびグループ執行委員会によって承認されています。当社および各従業員が、勤務地を問わず、倫理的な行動に関する明確かつ最新の指針を得られるよう、必要に応じて見直しと更新が行われます。

「生きた文書」として、本規範は、すべての人が最高水準のビジネス行動と倫理を遵守できるよう後押しします。この原則を日々尊重することで、グループの倫理的リーダーシップが確かなものとなります。



概要:この文書の目的は?

本規範は、法律、倫理原則、そして社内外のすべてのステークホルダーに対する尊重を基盤としています。その目的は、以下の実践を導くことにあります。



誠実さ、責任感、および人権の尊重を堅持する



適用される法令および規制を遵守する



当社の活動に関わるすべての人の健康と安全を守る



人材、スキル、専門知識を育成する



公平性、多様性、包摂性を促進する



事業を展開する国々の発展を支援する



環境を保護し、持続可能な開発を支援する



本規範の内容について不明な点がある場合は、上長、人事部、法務部、サステナビリティ部門、または内部統制・監査部門にお問い合わせください。



私たちの価値観と取り組み

私たちの目的

私たちは、あらゆる高温産業にとって不可欠なパートナーです。持続可能なソリューションを通じて、より良い世界の構築を支援します。

私たちの目的は、当社の存在意義と、カルデリスが世界に与えようとする影響を反映しています。

耐火物は多くの産業の基盤であり、当社は不可欠な存在です。当社なしでは世界は円滑に機能しないためです。過去160年にわたり、私たちはお客様と長きにわたる関係を築いてきました。私たちは単なるサプライヤーやソリューションプロバイダーではなく、お客様のパートナーです。

私たちは、お客様のエネルギー転換ニーズを支援するという目標を掲げ、特にイノベーションを通じて、世界に良い影響を与えることに尽力します。

私たちの価値観

当社の価値観は、私たちの思考、言葉、行動、そして振る舞いを導きます。これらは、私たちが最善の決断を下す助けとなり、当社文化の基盤を形成します。

当社について



粘り強さ:

私たちは、目標の達成と継続的な改善に尽力し、常に革新を追求する、決意と回復力に満ちた問題解決者であると自負しています。



責任感:

私たちは責任と主体性を非常に重視しています。卓越性の追求と他者への敬意を原動力とし、安全と倫理に深くコミットしています。



多文化主義:

私たちは、多様性、包摂性、そして文化的豊かさの力を信じています。このグローバルな視点と敬意の念が、私たちの適応力と効果を高めます。



誠実さ:

私たちは、信頼、誠実さ、そして人への配慮を大切にしています。常に言行一致を心がけ、謙虚で協力的な姿勢を保ちます。

持続可能性を実現する3つの柱

カルデリスの持続可能なビジネスアプローチは、3つの重要な要素を基盤としています。



人へのコミットメント

カルデリスは、安全で包摂的かつ公正な職場環境を育み、全従業員のウェルビーイングと成長を支援し、地域社会を活性化させ、バリューチェーン全体で倫理的な実践を推進することで、ポジティブなインパクトを生み出すことを目指しています。



環境負荷への責任

カルデリスは、低炭素イノベーション、循環型実践、責任ある資源管理を通じて、環境への影響を低減し、持続可能性の推進に努めています。



持続可能な成長への責任

当グループは、倫理的な卓越性を通じて社会に、また顧客への革新的かつ持続可能なソリューションを通じてビジネスに、長期的な価値を創造することを目指しています。

当社の取り組み

当社の基準を導く国際的な合意

当社は、グループの財務的および非財務的目標を達成するためには、すべての事業において社会的・環境的行動に関する高い基準が不可欠であると考えています。

そのため当社では、以下の主要な国際的合意の主要原則を含む、国際的に認められたベストプラクティスに基づいて本規範を策定しました。

- 国連グローバル・コンパクトおよび持続可能な開発目標 (SDGs) (The United Nations Global Compact and Sustainable Development Goals)
- 国連ビジネスと人権に関する指導原則 (The United Nations Guiding Principles on Business and Human Rights)
- 経済協力開発機構 (OECD) 多国籍企業行動指針 (The Organization for Economic Cooperation and Development (OECD) Guidelines for Multinational Enterprises)
- 国際労働機関 (ILO) 中核的労働基準 (The International Labour Organization (ILO) Fundamental Conventions)

これらの国際協定および基準には、持続可能な開発に貢献する手段としての環境・社会・ガバナンス (ESG) の原則が含まれています。

法令遵守

法令遵守は、当社の倫理的行動の基盤です。一人ひとりの従業員および事業体による完璧な遵守があって初めて、カルデリス・グループ全体としての法令遵守が実現します。

当社のグローバルな事業活動は、多くの国の法令や規制、さらには欧州連合 (EU) を含む超国家的な組織の規定の対象となるため、本規範が提供する指針は特に重要です。

当社は、事業を展開する各国の適用される国内法をすべて遵守します。

さらに、世界中で慣習や法律は多岐にわたり、互いに矛盾する場合もあります。現地の法律や慣行が本規範および当社の社内方針に定められた基準よりも緩やかな国で事業を行う場合でも、本規範の対象となるすべての者は、最高水準の行動規範を維持するよう努めつつ、誠実かつ適用される規制に沿って行動することが求められます。一部の国では、本規範に含まれる要件や禁止事項を超える要件や禁止事項が法律で定められている場合があります。そのような場合、当社は当該地域の要件を完全に遵守します。本規範に対する現地の例外事項は、実施前にグループ法務担当役員に提出し、承認を得なければなりません。

すべてのステークホルダーの利益

本規範は、以下のすべてのステークホルダーの利益を考慮して策定されています。



従業員に対して: 人権および労働法を完全に尊重し、健全で公平、包摂的かつ敬意に満ちた職場環境を実現するための安全な慣行を確保する。専門能力の開発を奨励する。そして、当社の社会的受容性と事業の持続可能性を確保するために、環境面での卓越性を達成する。



地域社会に対して: 透明性のあるコミュニケーションと、地域の社会経済的状况における価値の創出に基づき、近隣住民との良好な関係を維持する。



顧客および株主に対して: 質の高い顧客関係を構築する。環境への影響を低減し、顧客の健康および気候変動対策の目標達成を支援する最先端の製品・技術を開発する。株主に対する明確かつ定期的な情報開示を実施する。



経済的パートナーに対して: 代理店、代表者、コンサルタント、サプライヤー、下請業者、ビジネスパートナー、または当社と協力するその他の第三者が、本規範に従って行動し、自らの事業活動およびそれぞれのサプライチェーンにおいて、誠実さ、公平性、倫理的な行動に関する同様の基準と取り組みを適用することを確保する。



すべてのサプライヤーおよび下請業者に対する詳細かつ具体的な期待事項は、「カルデリスのサプライヤーESG基準」に記載されており、カルデリスのウェブサイトから閲覧可能です。

人材

互いを尊重するとは、当社の活動に関わるすべての人々の健康と安全を尊重することを意味します。

従業員に対する当社の取り組みは、健康と安全をグループのDNAに深く根付かせることから始まります。そのため、本規範は、事故ゼロ、職業病ゼロという共通の目標を達成するために、個人の主体性、積極的なリーダーシップ、研修、そして説明責任を後押しするものです。

当社の活動に関わるすべての人は、グループ全体の事業において、当社の健康と安全に関する手順、方針、基準に加え、適用されるすべての現地の健康・安全に関する法令および規制を遵守しなければなりません。



私たちは、従業員の身体的および心理的な健康を守ることに尽力し、安全上の懸念を率直に提起し、迅速に対処できる環境を育みます。



強固な健康・安全向上プログラム

健康・安全リスク評価をはじめとする強固なプログラムが、当社の監査および管理プロセスに組み込まれており、産業および業務上のリスクを特定、防止、軽減するとともに、継続的な改善を推進しています。

職場における曝露要因の特定、評価、管理を強化することで、職業病の発生件数を年々削減することに取り組んでいます。定期的な研修、監査、透明性のある報告を通じて、健康と安全のパフォーマンスを継続的に向上させています。

当社グループ全体の安全プログラム「safe.」は、怪我のない職場という究極の目標達成を支援することを目的としています。このプログラムは、以下の4つの柱に基づいています。



安全第一



コミュニケーションの促進



協働の促進



主体性の奨励

責任を分かち合う文化

当社は、従業員、請負業者、来訪者、および事業を展開する地域社会と協力し、健康と安全に関する共通の積極的な文化を促進しています。また、ビジネスパートナーやサプライヤーに対しても、同等の基準を遵守することを求めています。

強固な健康・安全文化を維持することは、個人および組織全体の責任であり、目に見えるリーダーシップと研修、そして職場における全員の参加が必要です。適切な是正措置を講じることができるよう、私たちは皆、安全でない状況を報告することが求められています。管理職の従業員は、率先して模範を示し、健康と安全の原則が決して損なわれないよう確保しなければなりません。

身体的な安全への取り組みに加え、私たちは従業員が支えられていると感じられる文化の醸成に努めています。私たちは、同僚が業務負荷のプレッシャーやメンタルヘルスの課題について率直に話し、理解と支援が得られると確信できる、信頼のある環境を最優先しています。





能力とスキルの開発

能力とスキルの管理は、従業員のキャリアや日々の業務における力を引き出し、全体的なウェルビーイングを支えるものです。また、革新的で、意欲的、かつやる気のある労働力を維持するのにも役立ちます。当社は、あらゆるレベルの従業員の技術的および管理的なスキル開発を支援する責任を認識しています。

尊重、平等、および差別に対するゼロ・トレランス

当社は、すべての従業員、および当社のために、あるいは当社と協力して働くすべての人に対して、相互の尊重、信頼、個人の尊厳に基づき、関わるすべての人にプロフェッショナルな態度で接することを求めています。

当社は、性別、年齢、国籍、市民権、民族、宗教、学歴、性的指向、身体的・精神的な能力、婚姻・親権・家族状況、あるいは政治的・労働組合への所属を理由とする、従業員、契約業者、ステークホルダー、または採用候補者に対するいかなる形態の差別も容認しません。また、セクシャルハラスメントを含むあらゆる形態のハラスメントを厳格に禁止します。

チーム内での多様性、平等、包摂性を促進することは、カルデリスの中核的な取り組みです。それぞれの経験、視点、アイデンティティが、私たちの組織を強く、革新的なものにします。私たちは多様性を受け入れ、誰もがありのまま

の自分で働ける文化を築き、各従業員の知識、スキル、経験、文化が尊重されることを目指しています。私たちは公正な雇用慣行を奨励し、すべての従業員に平等な機会を提供します。

ハラスメントや差別を経験した方、または目撃した方は、恐れることなく報告してください。善意に基づいて懸念を表明した個人を報復から保護し、問題解決に必要な支援とフォローアップを確実に受けられるようにします。

労使対話

私たちは、従業員およびその労働組合代表者と、公正で透明性があり建設的な関係を築くよう努めており、労働組合を結成または加入し、団体交渉を行う従業員の権利を擁護することを信条としています。

私たちは従業員と直接対話することを重視し、法的に義務付けられている場合は常に労働関連の要件を遵守します。法律が定める通り、私たちは従業員が強制されることなく十分な情報に基づいて意思決定を行う権利を尊重し、誰もが大切にされ、意見が聞き入れられ、尊重されていると感じられる職場づくりに努めます。

また、適用される法令に従い、従業員個人の表現の自由および集団としての表現の自由を尊重します。

第三者との関わり



地域社会:

世界中で、カルデリスの事業活動および従業員は地域社会の一員となり、カルデリス・グループの代表者として認識されています。私たちの倫理的な行動は、近隣住民や地域のビジネスパートナーからの信頼と信用を維持するものです。私たちは、事業拠点周辺の地域社会の社会経済的発展に貢献することを目指しています。



地方自治体:

公的機関との関わりにおいては、本規範の倫理的価値観を完全に反映しなければなりません。政党、政治家、または政治機関への寄付は一切禁止されています。⁽¹⁾

1. 「政党、政治家、または政治機関への寄付」とは、政党、政治団体、または政治候補者（およびその家族や側近）の活動を資金援助するために提供される、金銭、現物、または価値のあるサービスの贈与、貸付、前払い、または預託を意味します。こうした活動には、国、連邦、州、県、市、地方の公職選挙、政治的な住民投票（例：国民投票）や、政党、政治団体、または政治候補者を支援するためのその他の資金調達活動が含まれます



メディア:

カルデリス・グループに関する明確かつ一貫性のある信頼できる情報発信を確保するため、従業員は広報部門からの適切な承認なしに、グループを代表してメディアと接触することは許可されていません。メディアからの問い合わせはすべて広報部門へ連絡する必要があります。広報部門は、関連性があり正確な情報を提供し、当社の信頼性と信用を支える責任を負っています。



データプライバシー

プライバシーの尊重は、従業員、顧客、サプライヤー、およびビジネスパートナーとの信頼関係を築く上で不可欠です。当社は、委託された個人データおよび機密情報を保護し、責任を持ち透明性をもって取り扱うことを約束します。

当社は、一般データ保護規則 (GDPR) および関連する現地の規制を含む、適用されるすべてのデータ保護およびプライバシー関連法規を遵守しています。これには、正当な事業目的のために、かつ必要な範囲内でのみ、個人データの収集、処理、保存、共有を行うことが含まれます。

当社は、データ保護をガバナンスおよびリスク管理システムに組み込み、情報セキュリティ、機密性、完全性、および可用性が常に維持されるよう確保しています。従業員は、情報を保護し、ITシステムを責任を持って利用し、潜在的なサイバーセキュリティリスクに常に注意を払い、データ侵害や不正使用が発生した場合は直ちに報告することが求められます。

当社は、定期的な評価、研修、啓発活動を通じて、データプライバシーおよびサイバーセキュリティの実践を継続的に改善しています。また、サプライヤー、請負業者、パートナーに対しても、当社との取引において同等のデータ保護および情報セキュリティ基準を遵守することを求めています。

データを保護することは、人々を保護することです。当社は、あらゆるやり取りにおいてその信頼を維持する責任を負っています。

従業員、地域社会、およびバリューチェーン全体における人権の尊重

当社は、自社の従業員に対する人権および労働権を尊重し、公正で安全かつ敬意のある労働環境を維持することに尽力しています。

事業を展開するあらゆる地域において、私たちは国際的に認められた人権を擁護し、強制労働や児童労働を含むあらゆる形態の現代の奴隷制を根絶するための取り組みを支援するよう努めています。私たちは、これらの原則を共有するビジネスパートナーとの協働を求め、バリューチェーン全体において認められた基準への準拠を奨励します。

当社の取り組みは、事業展開国の適用法令、および「世界人権宣言 (Universal Declaration of Human Rights)」、「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」、ならびに「OECD多国籍企業行動指針 (OECD Guidelines for Multinational Enterprises)」を含む国際的に認められた枠組みに基づいています。国内法と国際基準に相違がある場合は、可能な限りより高い基準に従います。両者が矛盾する場合は、適用法令を遵守しつつ、実行可能な範囲で最大限に国際原則を尊重するよう努めます。

当社は人権侵害に対してゼロ・トレランス (不寛容) の姿勢を貫き、採用、雇用、および事業運営のあらゆる場面において、児童労働、強制労働、およびあらゆる形態の搾取を厳格に禁止しています。当社は、悪影響を引き起こしたり、それに寄与したりすることを回避することを目指し、悪影響が特定された場合には、責任を持って対処するよう努めます。

当社はデューデリジェンスを方針やシステムに組み込み、調査結果に基づいて行動し、進捗状況を監視し、関連するステークホルダーとコミュニケーションを図ります。当社は、自社の事業活動においてこれらの取り組みを遵守するとともに、サプライヤー、請負業者、およびビジネスパートナーに対しても同様の基準を推進しています。

責任ある調達

当社は、社会的および環境的行動に関する当社の高い基準を共有するサプライヤーからの責任ある調達を支援することに尽力しています。当社は、サプライヤーに対し、同じ原則に従い、適用される法律、国際条約、および当社の「サプライヤーESG基準」(当社ウェブサイトでご覧可能)を完全に遵守して事業を行うことを求めています。

当社は、EU紛争鉱物規制 (EU Conflict Minerals Regulation) に基づき、紛争鉱物 (3TG: スズ、タンタル、タングステン、金) の使用を回避することに取り組んでいます。サプライヤーには、事業において紛争鉱物を使用する場合、「OECD紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデューデリジェンス・ガイダンス (OECD Due Diligence Guidance for Responsible Supply Chains of Minerals from Conflict-Affected and High-Risk Areas)」に沿ったデューデリジェンスを実施することを求めています。



環境

当社は、責任ある環境管理者として行動し、環境保護とレジリエンス(回復力)の向上に積極的に貢献することを目指しています。

従業員は、業務のあらゆる側面において環境への影響を最小限に抑えるよう、責任を持って行動することが求められます。

世界中で事業を展開する当社は、環境を尊重し保護することの重要性を認識しています。当社の取り組みは、単に適用される環境法や規制を遵守するにとどまらず、健全な環境管理を通じて地球を積極的に守り抜くことにあります。当社の活動が環境への影響やリスクをもたらし得ることを認識しており、あらゆる活動においてこれらを責任を持って管理することに尽力しています。

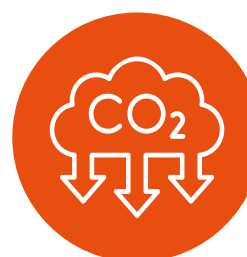
当社は、環境および気候変動への取り組みにおいて、包括的かつ先見性のあるアプローチを採用しています。これは、事業活動による直接的な影響だけでなく、気候変動への適応支援、資源使用量の削減、そして事業を展開する生態系への影響の最小化といった、より広範な責任にも対処するものです。

先進技術の導入、業務の卓越性の追求、そして環境への配慮を事業活動の各段階に組み込むことで、当社は悪影響の低減に努め、持続可能性が事業のあらゆる側面に根付くよう取り組んでいます。

責任ある環境管理者として環境を保護する

当社は、事業活動が環境や地域社会に与える影響を最小限に抑えるため、積極的に取り組んでいます。

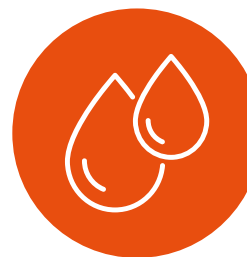
この取り組みには以下が含まれます。



顧客の低炭素ソリューションへの移行を支援するなど、事業活動に伴う温室効果ガスの排出を削減する



排出物、粉塵、騒音、その他の人間の健康や環境への事業活動の影響を低減することで、汚染の防止と管理を行う



責任ある取水、処理、再利用、および水質の保護を通じて、地域の水資源を守る



土地への影響を責任を持って管理することで、生物多様性や生態系への影響を最小限に抑える

これらの取り組みを通じて、私たちは当社の事業活動が、環境保全への取り組みと、現在および将来の世代のための自然環境の保護を反映したものとなるよう努めています。

従業員は、環境リスク、インシデント、またはコンプライアンス違反を適切な社内ルートを通じて報告し、各自の責任範囲内で関連する環境管理措置を講じることが求められます。

環境管理者としての責任の一環として、当社は事業および活動に起因する温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを行っています。気候変動への影響を含む環境への配慮は、業務慣行、設備の選定、調達、物流、およびプロジェクトの意思決定に組み込まれる必要があります。当社は、イノベーションと技術的専門知識を活用して、エネルギー効率の向上、排出量の削減、およびバリューチェーン全体における責任ある環境パフォーマンスの支援に努めています。これには、顧客の低炭素ソリューションへの移行を支援することも含まれます。

リスクと機会

当社は、事業活動およびバリューチェーン全体において、気候変動に関連するリスクと機会をどのように評価・管理しているのでしょうか？

1

当社の取り組みは、設備、プロセス、サプライチェーン、物流、低炭素技術など、あらゆる事業領域に及んでいます。

2

シナリオ分析を活用し、環境フットプリントを定期的にモニタリングすることで、Scope 1、2、3の排出量を明確に把握しています。

3

関連する専門家の知見を取り入れ、レジリエントな気候管理システムを構築しています。

4

CO2排出量の削減、エネルギー効率の向上、および低炭素イノベーションの推進に努めています。

5

当社のイノベーション能力を活用し、お客様の低炭素経済への移行を支援しています。

気候変動対策と低炭素化への移行

私たちは、気候変動を地球規模の重大な課題であり、事業および社会にとっての重要なリスクであると認識しています。的を絞った行動と継続的な改善を通じて、地球温暖化を2°Cを大幅に下回る軌道に乗せることを目指し、2030年までにScope 1および2の炭素強度(売上高1単位あたりのtCO₂e)を2021年比で少なくとも50%削減するというコミットメントを設定しました。

気候変動に関する考慮事項(気候関連リスクを含む)は、事業計画および戦略に組み込まれています。従業員は、長期的なレジリエンスと責任ある成長を強化するため、業務、調達、投資、物流に関する意思決定を行う際に、気候変動の影響を考慮することが求められています。

当社は、適切なガバナンス、リスク評価、および内部統制を通じて、気候関連リスクを管理しています。

イノベーション、技術的専門知識、およびバリューチェーン全体での協業により、当社およびお客様の環境パフォーマンスの向上を支援します。

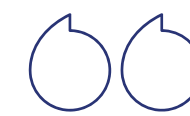
持続可能な資源利用と循環型経済

当社は、廃棄物の最小化、鉱物や水を含む天然資源の効率的かつ責任ある利用、ならびに事業活動およびバリューチェーンにおける循環型経済の原則の推進に取り組んでいます。

未使用の原材料への依存度を低減することが優先課題です。これを実現するため、二次原料の供給源を特定し、サプライヤーとの連携を強化するとともに、顧客とのパートナーシップを構築し、使用済み耐火物の回収・再利用を推進しています。

当社は、生産工程で発生する不良品を含む材料の再利用と回収を優先し、製品やプロセスにおける二次原料および再生材料の使用を奨励しています。製品開発、サプライヤーの選定、顧客との連携にあたっては、資源効率、製品設計、調達、および使用済み製品の管理といった環境的配慮が考慮されています。

これらの取り組みを通じて、当社はバリューチェーン全体で循環性を推進し、製品のライフサイクル終了時の処理を改善し、より効率的な資源利用を支援しています。これらの実践は、環境負荷の低減、資源レジリエンスの強化、そして長期的な事業の持続可能性に貢献しています。



当社は、2021年から2030年にかけて、Scope 1および2の炭素強度を少なくとも50%削減するというコミットメントを掲げています。



当社の資産

私たちは皆、カルデリスの資産、情報、システムを、倫理的かつ安全に、そしてグループの方針に沿って使用する責任を共有しています。

当社の内部統制は、資産が経営陣の指示およびグループの方針に沿って適切に使用されることを確保することで、グループ資産の保護に貢献しています。

これは、重大な損害や損失から合理的な保護を提供するための、責任あるリスクの評価および軽減と一致しています。

機密情報および知的財産

機密情報は極めて価値の高い財産です。これは、特許、商標、著作権、営業秘密、ノウハウなどの知的財産を含むグループ資産です。また、内部の戦略的、財務的、技術的、または商業的に機密性の高い情報、ならびに個人データや人事に関する情報も含まれます。

機密情報には、ツールやシステムの取り扱いに関する情報、および第三者から機密保持を条件として当社に委託された情報も含まれます。

私たちは皆、機密情報を保護し、それが適切に使用され、許可された者のみに共有されるよう確保する責任を負っています。これにより、偶発的、無断、または保護されていない状態での開示を防止します。職場外での会話や活動においても、第三者への無断開示を避けるよう注意を払わなければなりません。



個人的見解の共有、ソーシャルネットワークおよび第三者ウェブサイトの利用

従業員は、個人のソーシャルネットワークを含む個人的なオンライン上の関与や活動を通じて、自身の意見やコメントが何らかの形でカルデリスを代表するものであると主張してはなりません。

個人のソーシャルネットワーク上であっても、従業員は当グループの価値観、および職場内での行動指針となる「尊重、公平性、包摂性」という原則を遵守することが求められます。これは、カルデリスまたはその関連会社での勤務状況が明らかになり、当グループとの関連性が推測されやすい、専門的なプラットフォームやネットワーキングプラットフォームにおいて特に重要です。

従業員は、カルデリスのソーシャルメディアガイドラインで詳細を確認できます。不明な点がある場合は、コミュニケーション部門にお問い合わせください。

個人的な立場で政治活動に参加すること自体は妨げません。ただし、そのような個人的な活動において、当グループを代表していると主張してはなりません。

カルデリスの設備およびシステムの使用

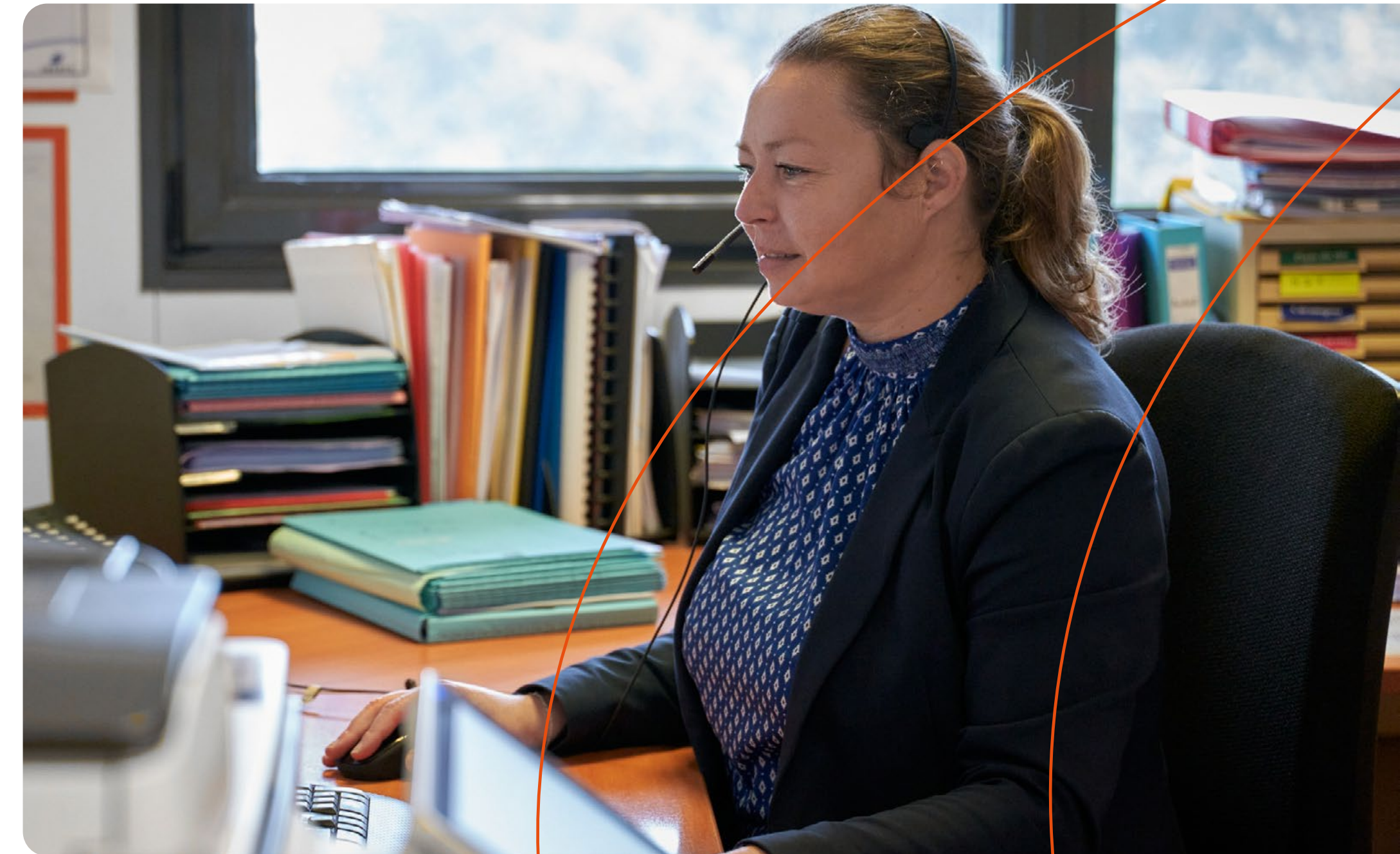
私たちは皆、当グループの設備、システム、リソースを適切に使用し、保護する責任を負っています。

カルデリスの機器およびシステムは、業務上の使用を目的としています。これには、電話、電子メール、ボイスメール、インターネット接続などの情報、技術、通信リソースが含まれます。

情報、技術、通信機器の合理的な私的利用は、グループ各組織の具体的なポリシーに従い、かつプライバシーを尊重する範囲内で許可される場合があります。

カルデリスは、自社の通信機器に含まれる情報を確認する責任を認識しており、私たち全員が、使用するグループの機器上の当該情報へのアクセスを円滑にするため、必要に応じて協力することが求められます。

カルデリスは、通信資産を保護するにあたり、個人的な、業務に関係のない通信の確認を避けるためにあらゆる合理的な措置を講じます。グループとして、私たちは従業員、事業、およびその資産を保護するために、幅広い標準的なビジネス用セキュリティツールや手法を使用しています。これらのツールには、インターネット・ウェブフィルタリング、ウイルス対策ソフトウェア、およびログ、監査、レポート機能を備えたメッセージング・コラボレーションサービスが含まれます。これらは、脅威の特定、不審なネットワークトラフィックの遮断、トラブルシューティング、ネットワーク帯域幅の管理に使用されるほか、現地の規制を遵守するために必要となる場合があります。



カルデリスの資産を利用するすべての者は、その資産を劣化、改ざん、詐欺、紛失、盗難から保護する義務を負い、グループが提供するいかなる機器においても、セキュリティソリューションを無効化してはなりません。

ビジネスインテグリティと 倫理

倫理的に行動するとは、単に当社の事業を規律する法令や規制を遵守することだけではありません。それは、第三者との公正な取引を含め、個人として最高水準の誠実さをもって行動することを意味します。これにより、情報に基づいた客観的な経営判断を下すことが可能となります。

カルデリスのコーポレート・ガバナンス、説明責任、および責任は、誠実さと透明性における最高水準を体現しています。

当社は、ディレクターがその職務と責任を完全かつ効果的に遂行するために必要なあらゆる情報を提供することに尽力しています。

従業員の責任とリーダーシップ: 当社の倫理システムの基盤

カルデリスに所属する私たち一人ひとは、事業を展開する各国の法律を常に遵守しなければなりません。

私たち個々の職務上の行動は、互いへの敬意に加え、顧客、サプライヤー、代理店、株主、そして私たちが活動する地域社会を含むすべてのステークホルダーへの敬意を示すものでなければなりません。

さらに、私たちは皆、倫理面でのリーダーとなり得ます。私たちは皆、日々の活動においてリーダーシップを理解し、育み、発揮すべきです。寛容さ、オープンな姿勢、率直さをもって、率先して模範を示すべきです。不適切な行動は決して許されません。



私たち一人ひとりの職務上の行動は、互いおよびすべてのステークホルダーに対する敬意を示すものでなければなりません。これにより、ステークホルダーからの信頼と信用を維持し、さらに高めることができます。



報告における透明性

私たちは、株主に対する透明性を確保し、事業を展開する地域で法律により要求されるすべての情報を提供することに尽力しています。報告するすべての情報の正確性は、社内で検証され、必要に応じて独立した第三者機関によっても検証されます。

当社は、良きガバナンスの原則を尊重し、戦略的および商業上の機密を保護しつつ、ウェブサイトや必要に応じてメディアを通じて、関連情報を明確かつ適時に提供します。これには、事業運営、投資、ソリューション、およびその他のグループの成果に関する情報が含まれます。

財務諸表の正確性を確保するための内部統制

当社の財務諸表および企業報告書は、当社の活動について真実かつ公正な見解を提供しています。これらは、一般に認められた適切な会計原則、ならびに最高水準の倫理的・専門的基準に従い、慎重な判断に基づいて作成されています。

当社の内部統制システムは、適用される法令および規制を遵守するよう設計されており、その結果、当社の財務情報は業績を正確に反映しています。

業務記録の維持

優れた経営は、客観的な分析と統制に基づいており、これには機密情報を尊重しつつ、グループ全体を通じて信頼できる情報が円滑に流れることが求められます。

グループの各事業体は、誠実かつ正確な業務記録を保持することが求められます。これは、責任ある情報に基づいた経営判断を行うための基礎であり、また、法的、財務的、規制上の報告を行うための基盤でもあります。つまり、いかなる取引についても、その実態を隠蔽、改ざん、偽造、または偽装してはなりません。また、いかなる報告やコミュニケーションにおいても、誇張、中傷、憶測、あるいは個人や企業に対する不適切な表現を行うことは許されません。

私たちは皆、現地の法律に従い、かつカルデリスの記録保存に関する方針に沿って、記録が適切に保存または破棄されるよう責任を負っています。



完全かつ公正な競争の促進

公正かつ倫理的な競争への当社の取り組みとは、違法行為や不公正な競争によって事業を獲得したり、顧客との関係を維持しようとしたりしないことを意味します。当社は、独占禁止法および顧客、サプライヤー、競合他社との公正な取引に関する法令を遵守し、当社の独占禁止方針に明記されている通り、それらの権利を尊重します。

いかなる者も、製品またはサービスの販売における完全かつ公正な競争をいかなる形でも制限しようとする、競合他社とのいかなる合意や了解も提案または受諾してはなりません。これには以下が含まれます。

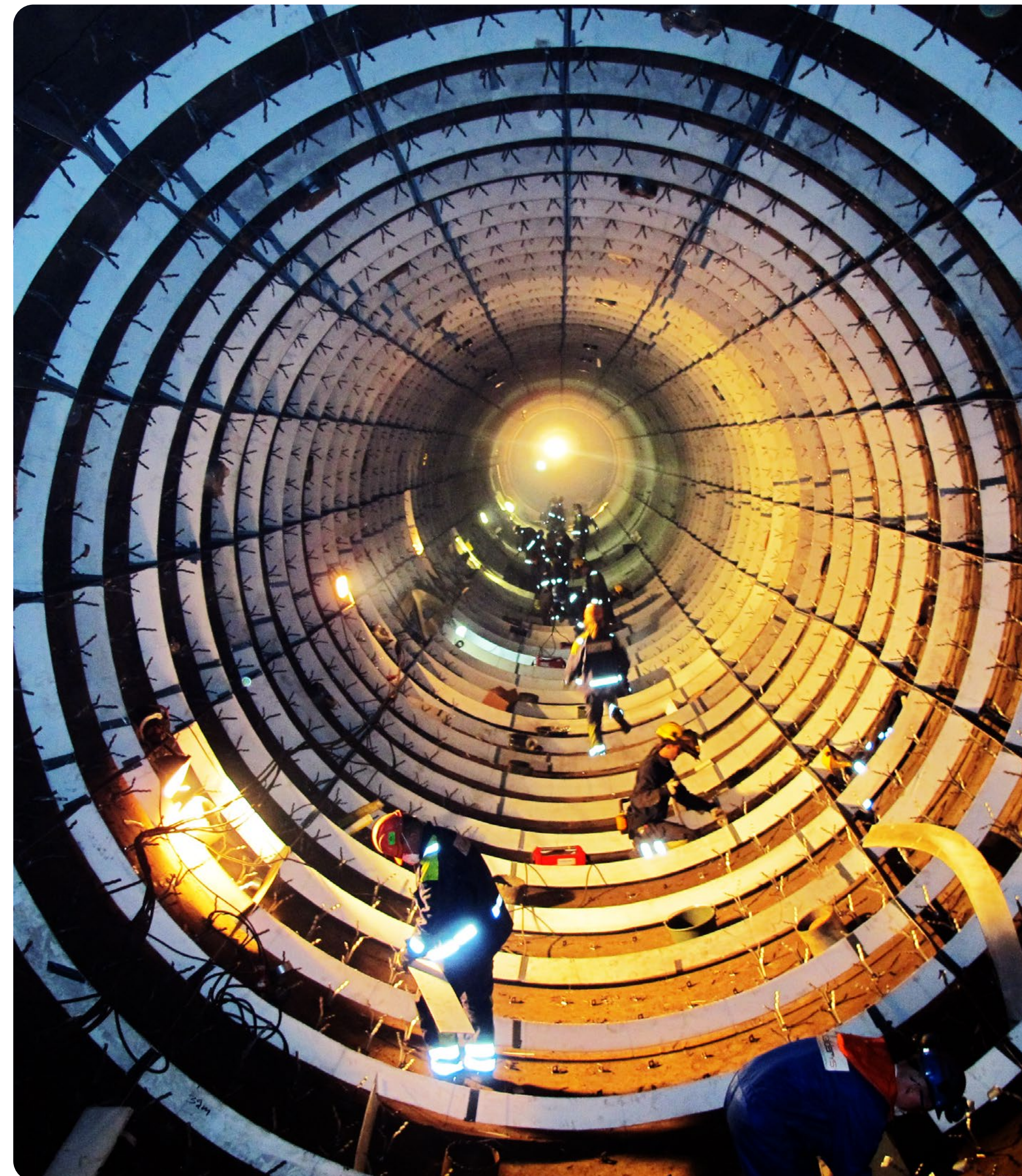
 価格の固定または統制

 入札の談合

 製品、市場、または販売地域の割り当て

 製品の製造、販売、生産、またはサービスの提供の制限

 ボイコットの強要



業界団体の活動や、競合他社、顧客、サプライヤー間で意思疎通が行われるその他の状況に参与する際は、こうした意思疎通や共同活動に対する独占禁止法の制限に特に注意を払わなければなりません。

利益相反の回避

私たちは皆、利益相反の疑いすらも生じないように注意しなければなりません。これには、カルデリスでの職務に支障をきたしたり競合したりする可能性のある副業や社外での事業活動、あるいはグループに対する客観性や献身を損なう可能性のある行為を行うことが含まれます。疑わしい点がある場合は、上長、地域の法務担当者、または人事担当者に相談してください。

また、カルデリス・グループおよびそのステークホルダーの利益によって、個人の利益が(好ましいか否かを問わず)影響を受ける可能性のある状況にも注意を払う必要があります。この要件の対象となるのは従業員だけではありません。取締役や役員をはじめ、グループとのパートナーシップや合併事業に参与する者を含め、カルデリス・グループと何らかの形で関わりを持つすべての者は、利益相反を引き起こす可能性のある新たな状況について、警戒心を持ち、透明性を持って開示する必要があります。

特定国との取引における高度な注意義務

私たちは皆、事業を行う場所を問わず、禁輸措置、経済制裁、輸出入規制、貿易および反ボイコット規制を含む、適用される規制を遵守しなければなりません。

特に、営業および購買チームは、顧客からの注文を受諾したり、発注書を作成したりする前に、慎重な審査を行い、カルデリスとの商取引が、禁止国、禁止事業分野、および／またはブラックリストに掲載された個人や企業の利益のために行われていないことを確認しなければなりません。

贈収賄および汚職の防止

カルデリスの全従業員および関係者は、職務を遂行するにあたり、一切の非難を受けることのない行動をとり、汚職を防止・検知するためのカルデリスの措置を遵守しなければなりません。これらの措置は、当社のグループ贈収賄防止方針に定められています。

当社は、カルデリスの製品およびサービスの品質のみに基づいて競争することを約束します。

当社は、いかなる形態の贈賄も容認せず、カルデリスが事業を展開する各国で適用されるすべての贈賄防止および腐敗防止法を遵守します。これは、以下のことを意味します。

- 当社は、業務や製品の品質によってビジネスを獲得し、不適切な影響力や不正な誘因によって獲得することは決してありません

- 公務員または民間セクターの関係者に対し、法定要件や雇用主に対する法的義務に違反させることでビジネス上の利益を確保することを目的として、高額な金銭の支払いや贈答品・招待の提供を行うことを禁じます

- 当社の製品やサービスに関する判断に影響を与えるための違法な支払いを容認しません

同様の理由から、カルデリスに所属する者は、ビジネスパートナーやその他いかなる者からであっても、自身の判断やグループに対する職務に影響を与えると見なされる可能性のある金銭、贈答品、または招待を受け取ってはなりません。



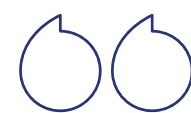


ファシリテーション・ペイメント(便宜供与金)

ファシリテーション・ペイメント(便宜供与金)とは、支払者が法的に権利を有する日常的または必要な業務の遂行を確保または迅速化するために、公務員に支払われる少額の賄賂を指します。当社は、支払が行われる管轄区域において禁止されていない場合であっても、ファシリテーション・ペイメントを厳格に禁止しています。これは、事業を展開するあらゆる地域において、倫理的な事業活動の保護においてリーダーシップを発揮するという当社の取り組みの一例です。

ただし、業務遂行の過程において、従業員が極めて困難な状況に直面し、そのような支払いを拒否することで、自身、代理人、またはビジネスパートナーの健康、安全、およびセキュリティが危険にさらされる可能性があることも認識しています。

そのような状況下でファシリテーション・ペイメントが行われた場合、従業員は支払われた状況を報告しなければならず、また、当該支払いの経費精算を申請する際には、帳簿および会計記録に正確に計上しなければなりません。



最高水準の倫理観をもって他者に接することは、当社の長期的な業績にとって不可欠な要素です。



リスク管理

当社は、事業運営、評判、または法的・倫理的基準の遵守に影響を及ぼす可能性のあるリスクを、積極的に特定、評価、管理することに尽力しています。

リスク管理は、強固なガバナンスと監督体制によって支えられています。専任のリスク委員会が主要なリスクを監視し、内部統制を検証し、重大な問題を経営委員会に報告します。当社は事業全体にわたるリスクを定期的に評価し、リスク管理を日々の事業計画および意思決定に組み込んでいます。

不正行為に対するゼロトレランス

カルデリスの執行委員会は、不正行為を一切容認しないという姿勢のもと、誠実さと透明性を重んじる企業文化の醸成に努めるとともに、事業全般にわたる不正行為を防止、検知、対応するために設計された、堅固でリスクに基づいた手順の実施と維持に取り組んでいます。すべての従業員および関係者は、常にこれらの基準を遵守し、不正防止方針に従うことが求められます。

内部通報

当社の内部通報制度は、強固なガバナンスによって支えられており、倫理・コンプライアンス委員会がその実施を監督し、調査内容を精査し、懸念事項が責任を持ってフォローアップされることを確保しています。

すべての人から尊重される、強固かつ効果的な行動規範を実現するには、当社の基準を遵守する行動が不可欠です。不正行為について懸念を表明するには勇気が必要です。

本規範への違反を報告することは、当グループおよびすべてのステークホルダーの利益を守るために不可欠です。提起された問題は、関係するすべての個人の権利を尊重しつつ、慎重に調査・処理されます。

違反の報告

本規範の違反が発生している、または発生したと情報を受け取った場合、あるいはそのように確信した場合は、速やかに上長、または人事、法務、持続可能性、内部統制・監査部門の担当者(状況に応じて適切な部署)に報告してください。また、本規範の対象となる状況への対処方法が不明確な場合は、これらの担当者に助言を求めることもできます。

本規範の違反の疑いについて、善意に基づき通報した者は、たとえその後の調査で違反が認められなかった場合でも、報復や不利益な処遇を受けることはありません。

違反の疑いについて善意に基づき通報したにもかかわらず、満足いく対応が得られない場合は、より上位の者を含む別の担当者にその問題を提起してください。

違反の疑いに関する通報は、当社の内部通報ホットライン「Speak Up!」を通じて行うことも可能です。このホットラインは、非倫理的、違法、または有害な行為に関する懸念を、24時間365日、複数の言語で、安全かつ機密が守られた形で通報できる手段を提供しています。

懸念事項を守秘のもとで、かつ匿名で提起できることは、従業員、実習生、派遣社員、サービス提供者、サプライヤー、顧客など、カルデリス・グループのすべてのステークホルダーが持つ権利です。

提起されたすべての問題は、関係するすべての個人の権利を尊重しつつ、慎重に調査・対応されます。

不適切な行為の調査と是正措置

本規範の違反に対する正当な報告については、カルデリスが調査を行い、原因を特定し、適切な是正措置を講じます。

聴聞の機会を含む公正な調査の結果、本規範への違反が認定された場合、現地の法律に従い、解雇を含む懲戒処分が科されることがあります。このような違反があった場合、資金や資産の全額返還が求められ、必要に応じて、グループは法律に基づき刑事手続きを含むさらなる法的措置を講じることがあります。



私たちの行動は、個人として、またグループとして、倫理原則の実践を日々実証するものです。



i 従業員および非従業員は、リンク speakup-calderys.ethicspoint.com またはカルデリスのイントラネットおよびウェブサイトに掲載されているフリーダイヤルを通じて、Speak Up! に秘密厳守で連絡することができます。

本規範の施行と監視

本規範の遵守は、すべての従業員、管理職、およびビジネスパートナーの共通の責任です。

本規範の効果的な適用を確保するため、カルデリスでは、定期的な研修、モニタリング活動、内部監査を含む体系的なコンプライアンス体制を維持しています。

すべての新入社員は、入社手続きの一環として必須のオンライン研修を修了し、また、対象となるすべてのユーザーは3年ごとに再研修を受け、当社の倫理原則と責任に対する理解を深めます。

サプライヤーおよびサービスプロバイダーには、必要に応じて本規範への署名を求め、その基準への遵守を確約していただきます。

本規範の遵守は、グループとしてのインテグリティ(誠実さ)を守るために不可欠です。遵守しない場合、是正措置が講じられる可能性があり、重大な違反の場合は、解雇に至るほか、サプライヤーや顧客との取引関係の停止または終了に至ることもあります。

本規範は「生きた文書」であり、関連性が高く実用的な指針であり続けるよう、見直しと更新が行われます。懸念事項や違反の疑いがある場合は、Speak Up! を通じて報告してください。



これらの原則に共に取り組むことで、私たちはすべての人にとって安全で、互いを尊重し、倫理的に責任ある環境の確保に貢献します。





© 2026 Calderys. 写真: Olivier Lattuga-Duyck, Côme Bardon, Elliott Cramer, Johan Howler. 表紙画像はAI生成。
2026年4月 無断転載禁止。特に記載がない限り、本行動規範のすべての内容に関する権利はカルデリスに帰属します。
本書は翻訳版です。内容に相違がある場合は、英語版を優先するものとします。